

話し言葉における会話物語の構造と表現について  
加藤陽子\*

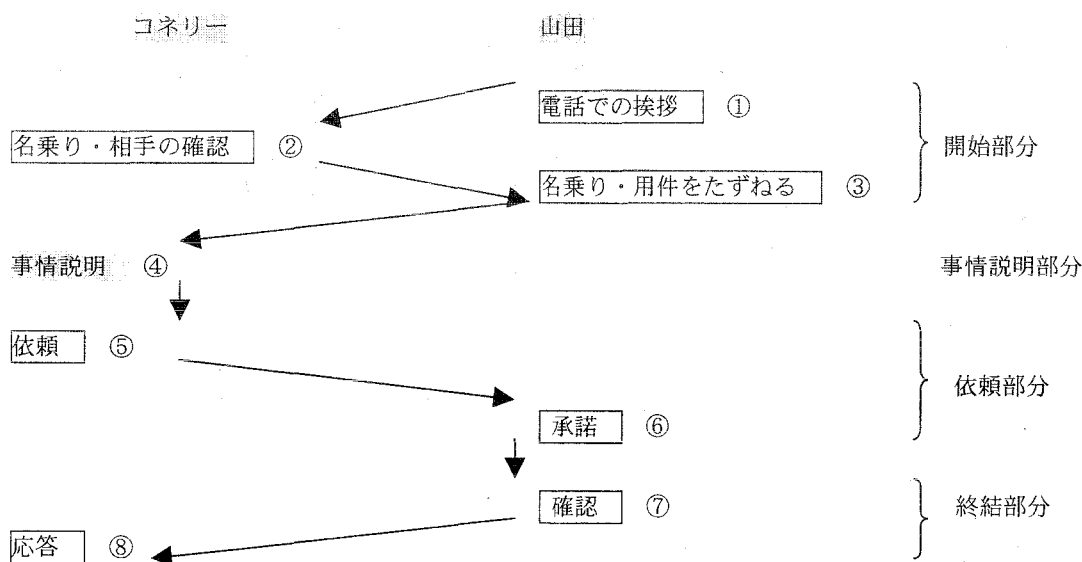
1 研究動機と目的

国際大学日本語プログラム中級（日本語5～7：日本語5は350～400時間終了程度）では、主教材として「日本語でビジネス会話中級編」（日米会話学院）を使用している。この教材は会話の機能別に一課が構成されており、実際の授業では、対応するフローチャート（資料2）を参照し、会話の流れとそれぞれの機能を担う表現を学習してから実際の会話本文（資料1）の学習に入る、という手順がとられている。

<資料1> 「日本語でビジネス会話11課 連絡 本文会話」番号・網掛けは筆者

山田：①横山物産、営業課でございます。  
コネリー：②私、コネリーですが、中村さんですか。  
山田：③あ、コネリーさんですか。山田です。今、中村さんはちょっと外に出てるけど何か用ですか。  
コネリー：④いや、実は今、例の件で山東商会に来たところ、話がちょっと長引きました、今、終わったところなんです。それでですね、これからユニテック紹介の方へ回りますから、⑤何かありましたら、あちらに連絡するように、中村さんに伝えていただけませんか。  
山田：⑥はい、わかりました。⑦ユニテックにいらっしゃるんですね。  
コネリー：⑧ええ、営業のフランさんとここにいますから。  
(後略)

<資料2> 日本語でビジネス会話11課 連絡 「会話の流れ」 表中番号は資料1と対応



この手順で授業を行ってきて、年間を通して学生がなかなか上手にできず対応に苦慮したのが、④の「事情説明」の部分である。例えば、資料3の「予約変更」というロールプレイをさせてみた場合、資料4の発話が示すように、伝えるべき事項を過不足なく伝達できず、聞き手に質問してもらって答えることにより情報を補って

\* 所属：国際大学日本語プログラム（1999年当時）

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士後期課程1年次（2001年3月現在）

ykato@phiz.c.u-tokyo.ac.jp

く方法を取らないと説明の全容が明らかにならない。また、一文が短かく、それぞれのつながりがわかりにくい。

これは学習者本人の総合的な日本語能力の低さから来るものも多分にあるだろう。しかし、効果的な事情説明は能力が上がれば自然にできるようになるのではなく、話し言葉で、ある特定の種類の談話を作るということは、きちんとした練習なくしては望めないのではないかとも思われる。

<資料3> 会話試験(「予約変更」のロールプレイ)より。以下は場面を説明したロールカード

You are supposed to be in Tokyo today for a very important job interview for Sumitomo Bussan that starts at 3:00. You got to Urasa station at 11:30, only to find out that Shinkansen is delayed because of an accident between Nagaoka and Niigata. The delay is expected to be anywhere from 1.5 hours to 2 hours. Call the company in Tokyo, and talk to Yamada san in the personnel department, whom you have talked to before. Your task is to explain the situation and somehow try to sit for the interview.

<資料4>

(C:中級前期の学生(国籍は米国) K:筆者 網掛け部分は事情説明部分 98年10月採録 先行部分略)

C1: あーん(笑い) OK? 今私は、あーん新潟県の浦佐駅でございます うーん、あーでも、長岡から  
K1: はい え  
C2: 新潟まで あー新幹線の事故がありまして うーんあ、ホントに問題、問題ですね  
K2: はい あーそうですか あー  
C3: そうですね、あ、それでは、あー約束の時間を、変更、変更していただけない  
K3: そうですね大変ですね ええ  
C4: いでしょうか?あ、もう一時半、半、に、あーほか、二時間ずらしてあーんずらしていただけない  
K4:   
C5: でしょうか  
K5: あ、いやあの一山田が帰ってこないとちょっとそれはわかんないんですがねえ  
C6: あーそうですか うーんあ、うーん let's see あー一次次の新幹線は あー二時間後で それで  
K6: ええ はい はい  
C7: この新幹この電車、に乗って あーん ××五時半五時半くらい東京へ 来ます  
K7: ええ ええ あーそうですか  
C8:  はい、お願い  
K8: えーとじゃ、山田にそのことはお伝えしますが あ、会社はま六時にちょっと終わってしまう  
C9:  はい、わかりました それでは六時にもう  
K9: ので、六時までにはあのいらっしゃっていただけますか? はい  
C10: 一度電話をかけます はい  
K10: あ、いいえ、あ、五時半にこちらにいらっしゃるんですよね (後略)

事情説明の部分は、挨拶などの隣接ペアが中心となる「開始部分」や「終結部分」、また、「申し訳ありませんが」「～していただけませんか」等のセットフレーズが中心となる「依頼部分」とは異なり、決められた表現を覚えれば何とかなる箇所ではなく、学習者の言語生成能力が問われる所である。また、隣接ペアのように答えをある程度制限されたまま双方のやりとりによって会話が進むものではなく、完全に一方が聞き役に回る、いわゆる「一人語り」をしなければならない所でもある。依頼をするにせよ断りをするにせよ、その理由となる背景の事情は、正しく簡潔にわかり易く伝えなければならないことは言うまでもないであろう。

「事情説明」が効果的にできるようになるために学習者が学ばなければならないこと/教師が教えなければならないことは何だろうか。特に、中級段階で、今まで学習した素材を組み合わせ、「効果的な流れを持つ事情説明のための談話」を作り上げるには何が必要なのだろうか。また、本プログラムでは中級終了時に Oral Proficiency Interview の Intermediate High のレベルまで到達することを目標としているが、その上の Advance レベルのロールプレイ(思い通りにいかない状況に対処する)をクリアするために、つまり、簡潔でわかりやすい「思い通りにいかない状況」の事情説明をするためには何が必要なのだろうか。

本研究では、この事情説明部分の談話の「型」を抽出することを目的とする。具体的には、事情説明の際にどんな文型が使用され、それがどのように配列されているのか、そしてその文型を使うのにはどんな意味があるの

か、を明らかにすることである。そして更には、それを教育現場に反映して学習項目として教えられる形にすることである。この目的を達成するためには、まず何よりも日本人、学習者、双方の談話を注意深く観察し、双方の談話の特徴を抽出し、学生の談話に不足している部分を指摘することが求められる。この研究の第一段階として本稿では、日本人の談話を観察し、そこに使われている文型（表現）・談話標識を指摘したい。本稿では紙幅の都合もあり、文型（表現）・談話標識の指摘だけにとどめ、それがなぜ使われているのか、という機能的な観点／構文的な観点からの詳しい考察は、別稿に譲りたい。

## 2 「会話物語」とその構造について

本研究では、この「事情説明部」の構造を明らかにするために、メイナード(1993)で「会話物語」と呼ばれている、会話中に披露されるエピソードの分析を進めたい。これは、「会話の中では人のうわさ話から、自分が経験した出来事、誰かに聞いた話等、折を見て物語をさし込むことが多い。こういった会話物語の構造についての……（後略。メイナード(1993:49)）」と説明されており、メイナード(1997)で「個人的経験物語(personal narrative)」と呼ばれているものと同じであると考えられる。メイナード(1997:36)では、下記のように Labov and Waletzky(1967)が引用され、会話物語の構造（配列順序）が紹介されている。

- (1) 要旨(Abstract)：何の話か
- 設定(Orientation)：誰がどこでいつ何をしたか
- 出来事(Complicating action)：起きた事件は何か
- 評価(Evaluation)：話し手の気持ちはどうだったか、話の意味は何か
- 結果(Result or resolution)：結局どうなったか
- 結語、しめくくりの言葉(Coda)

メイナード(1997:37)は、「単にある事件を報告する場合（例えば警察官に交通事故の一部始終を説明する）は、なるべく客観的に、話し手の評価を加えずに語るのに対して、個人的な経験談は話し手の気持ちを伝える手段として語られることが多いのである。」と述べ、「会話物語」の構成要素の中では、「評価」部分が特徴的であるとの指摘がある。「事情説明」はどちらかというと報告調の談話に近いものがあるため、「設定」「出来事」「結果」の部分に重心が置かれる傾向にあると考えられる。従って本稿ではその3つの部分の現れ方、そこに現れる文型を中心に考察していく。

## 3 データの種類

話し言葉では、聞き手の役割によって話し手の独話の流れが変わる場合もある。一緒に会話に参加している相手からは、相づちだけでなく質問も来る。それによって時に話題からそれることがあるが、一緒になって会話物語の流れを作り上げる場合もある。データを採集する方法として、このような聞き手の言語行動も入れて会話を包括的に見る方法と、インタビュー形式の、質問→答えの部分に現れる会話物語を拾った、聞き手にほぼ完全に聞き役にまわってもらってとった方法があるが、今回は、インタビュー形式で採取された例だけを資料5以降に掲載している。これは聞き手の役割を軽視しているのではなく、研究の第一段階として会話物語の中断等がないデータを対象にしたほうが「型」がよりよく見えるのではないかと、という予測に基づいた判断である。

## 4 日本人の「会話物語」の文型

以下資料5～7を参照しながら、4.1～4.4で、日本人の会話物語に現れやすい文型を指摘する。

### <資料5>

(M：友人 K：筆者 双方出身は山形県 99年6月採録 Mはもうすぐ2歳になる息子（資料中「コイツ」）

を連れてオーストラリアから里帰りをした。息子が飛行機の中でむずかっとうるさいから抱いていると男性フライトアテンダントに言われ、その失礼な言い方に憤慨して口喧嘩をした、という話の後で)

K1: (笑い) ふーん  
M1: であたしそれでももう向かっ腹立ってで、で、ガラガラだったんだよ、その飛行機 んで、何か  
K2: うん (笑い) うん  
M2: アテンダントなんか全然働いてねくて、ベチャクチャベチャクチャはな 話してで んで  
K3: うん うん うん  
M3: そんなんだっただがらもう、むかついで頭さ来て 食事が運ばちえきて でもらって でも  
K4: うんうん  
M4: コイツがもう…ね、抱っこしてんなねがったりよ、そんな「抱いてる」ってアテンダントが言うんだ  
K5: うん うん うん  
M5: がら 「その辺さ行がせんな」とか言うんだがら んで抱いたったごで んで、しょうも、ご  
K6: うん うん、うん、うん うん  
M6: 飯食べらんになべした? 抱いでっがら だがら、あの一頭さ来て んで何か、アテンダ  
K7: うーん、うーん うん  
M7: ントベチャクチャってしゃべってでよ、まだそいつが んだがら「よーし」ど思っ  
K8: うんうんうん うん  
M8: コイツまだハイハイしたったんだげど ん、アテンダントんどごさ行ってよ あのカー  
K9: うん あ、  
M9: テン×××カーテンが一って開けて 「悪いけど私の子ども見てて。私ご飯食べたいの」って  
K10: その男さ (笑い) なんちゅう  
M10: ばーんってその男さ預けてやって、(笑い) したら、ギャーどがって泣いでよ、ほら、しゃあ  
K11: はあはあはあ はあはあはあ はあはあはあ  
M11: ね人さ預げらっちゃんだがら、でエビぞりで暴れるしよ 真っ赤んなって その  
K12: うんほほ ほほほんと うん うん××  
M12: アテンダントもって 逃げでった でご飯食べで 「ふっざまみる」どが思っ 「そん  
K13: (笑い) 確かに 私がうるさいんじゃない  
M13: な言うんだったら自分でやってみろ」と思っ んだべ? 「そんな言うほどよ、簡単  
K14: なるほど はーん それもでも子ども持ったなん  
M14: じゃねえんだぞ」どが言っ やったごで 母は強くなるよ (笑い)  
K15: て言うの 成果だと思っわ あーあー確かに  
M15: うーん もー そうそれもそれはすごい強くなるよ (後略)

#### 4. 1 動詞をつないで叙述を連続していく「て形」

資料5から、動詞のテ形で節が長く繋がれていく場合が多いことがわかる。テ形を使うことによってM8~10の発話のように連続する動作を叙述して話を前に進め、「設定」や「出来事」を描き出すこともできる。また、テ形を使うということは、後続部分に他の述語を繋ぐという意志を表しているものであるが、そこでいさして一旦文を中断し、「んで」(それで、の意)などの接続詞で新たに文を始めるという箇所も多く見受けられる。このようにテ形が多用されるのは、それ自体には意味をもたず、先行節と後続節とを繋ぐという機能的役割だけを果たすテ形の「使い勝手の良さ」に起因するものだと思われる。発話者は頭の中で談話の最後の一字一句まで考えてから話し始めるものではなく、その時々意識にのぼる事柄をつなぎ合わせながら談話を構成していくのであろう。その場合に、ただ繋いでいけば先行節と後続節の意味関係を聞き手が解釈してくれるテ形が頻りに使われるようになるのは、容易に納得できることだと思われる。

#### <資料6>

(H:ゲスト T:司会者 99年6月 テレビ朝日「ミュージックステーション」ゲストのアパートについての話の後で)

T1: うん うん  
H1: 一回家帰ってきてすごい疲れてて 夜中 にこうふーと思っ見上げたら アパートのそのちっ  
T2: うん、うん うん  
H2: ちな窓が見えて ××××いっしょで で、あれーうちの窓かなって言ったら、  
T3: うん うん  
H3: あのうちのお母さんが カラカラカラってちっちな窓開けて 「お帰りー」って大声でいっ  
T4: うん うん うん  
H4: たらもう 窓あの網戸がついてるのに すっごい通っ アパート中たぶん起きたんじゃ  
T5: 特に声の伝導率のいいアパートだねそれ  
H5: ないかと思うぐらいうるさかったのね (笑い) (後略)

#### 4. 2 意外な場面展開を予感させる「タラ～タ」(ト・スルト・ソシタラ等)

タラは、条件を表す接続助詞であるが、条件を表さない「タラ」は会話物語でよく使われている。特徴的なのは、資料5のM10に見られるように、「タラ～タ」の形で、話の「オチ」(「結果」の表示)に使われる場合である。また一方、資料6のH1の「ふーと思って見上げたら、アパートのそのちっちゃな窓が見えて、」のように、「トキ節」と近似する意味を表す場合や、同資料H3の「「おかえりー」って大声で言ったらもう……(声の通りやすいアパート中に声が) すっごい通って」のように、「ノデ」などの理由節と近似する場合もある。これは、まず第一に前田(1998)で述べられている条件を表さない「タラ」の用法の広さに拠るものと思われる。またこの用法の広さ、近似する意味のカバー領域の広さに加えて、タラの後続節の「意外性」の表示が、物語を披露する際聞き手の注意を引きつける役割を果たす。タラの後続節は「うまく対処できない困難な状況の出現」を表す場合も、「予想できなかった意外な面白いことの発見」を表す場合もあるが、この劇的な叙述効果は、ひとえに「タラ」の後件で表されるコントロール不可能な性質が表示する「意外性」により生み出されるのであろう。

##### <資料7>

(N:友人 K:筆者 酒癖が悪い人たちの模様についての体験談 99年3月採録 先行・後続部分略)

K1: え ああ あ北の方の(笑い) えええええ、 ええ、ええ、  
 N1: 去年、修了した、某、電力会社の、北の方の あの、方なんかも  
 K2: ええ  
 N2: あの一緒に sky trip に行って 行ったんですけどもあたしいはもう先に寝てしまったんですけど  
 K3: ええ え ああそうなんですか  
 N3: その後に 何かもうものすごかったらしくて はい、何か運良く居合わせな  
 K4: ああ、「惜しい」なんて ああそうなんですか へー  
 N4: かった(笑い) (笑い)「やったー」みたいな(笑い) (笑い)

#### 4. 3 前提(前置き)としての状況を語る「けれども」「が」

資料7のN2に二度現れている「けれども」は、節の前後に「逆接」という論理関係がないもので、前件が後件に関連する情報を付け加える「前置き」と呼ばれているものである。これは南(1974)では独立文に近いC類に分類されており一つのまとまった状況描写となるものである。4.1で観察したテ形と同様ただ単に先行部と後続部を繋ぐという機能的役割を担っているとも言えるが、テ形と違って文相当の単位を繋ぐことができるという点で、主に「設定」を叙述(特にまとまった一場面を叙述)するのに使われやすいようである。

#### 4. 4 その他

紙幅の関係で詳しく述べることはできないが、この他にも、発話者の評価を提示しつつ「結果」を表示する「何と」等の副詞や、後続部の内容を予測させる「ところが」等の接続詞、いわゆる「被害の受け身」や授受表現・「…しようとした」、「してしまった」等の文末表現に見られる、叙述の中に感情(「評価」)を織り込んだ文型の使用など、観察の対象とすべきものは様々である。今後は接続助詞を使った表現にとどまらず、これらも考慮に入れて、「効果的な事情説明」のための基礎的研究を進めていきたい。

##### <主要参考文献:本文で参照したもののみ>

- 泉子・K・メイナード(1997)『談話分析の可能性 理論・方法・日本語の表現性』くろしお出版  
 泉子・K・メイナード(1993)『会話分析』くろしお出版  
 前田 直子(1998)「非仮定的な事態を接続するト・タラ文の意味・用法」  
 『東京大学 留学生センター紀要』第8号 東京大学留学生センター  
 南 不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店